

いびきの振動が動脈硬化の原因に

2008年にオーストラリアから報告された論文が喧々諤々の末に、動物実験で実証されました

2011年10月

オーストラリアの Lee 先生が 2008 年頃に、いびき症患者では脳に血液を送る頸動脈だけが動脈硬化を起こしやすいことを発見しました。その後、この結果を廻って喧々諤々（けんけんがくがく）の論争があり、とうとう今年、同じくオーストラリアの Cho 先生によって、いびきの振動が頸動脈まで伝わり、その振動刺激によって動脈硬化が起きることが動物実験で確認されました。つまり、頸動脈の動脈硬化を防ぐには、すなわち脳梗塞を予防するには、いびきを可能な限り消さないといけないということです。

私たちもかつて、いびき症患者の頸動脈の動脈硬化を調べました（グラフは、河野正己・循環器科 58(3)243-250 2005 より引用）。

いびき症をあなどるなかれ、およそ 40%の方に頸動脈の動脈硬化が発見されました。中にはいつ血栓や塞栓が脳に飛んでもおかしくない重症な病変もありました。

いまだ本邦の健康保険では、いびき症の頸動脈エコーを行う事ができませんが、このような論文によって、ルーチン検査として認められることを望みます。

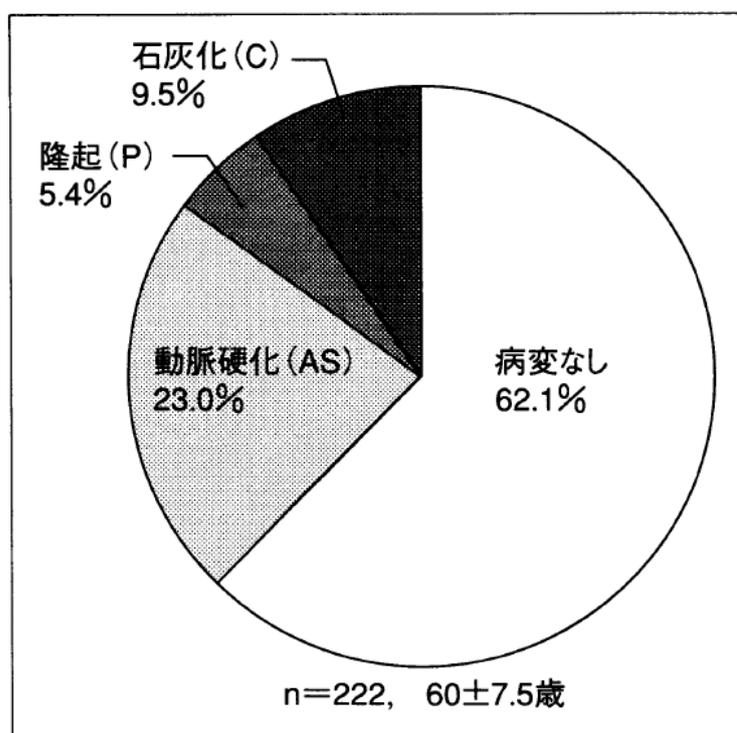


図2 頸動脈の動脈硬化性病変の合併率